

茨城県知事などに要望書提出 ヤードの適正配置 規制強化を求める



10月19日、木村市長、風見市議会議長が県庁などを訪れ、県知事および県警察本部長に対し、「ヤード（自動車解体施設等）の適正配置に対する規制強化等に関する要望書」を提出しました。

地区代表者などから市へ要望書が提出されるなど、市内で急増しているヤードに関する市民の不安が高まっていることを受け、不法行為の取締り強化、市街化調整区域の新規立地制限などの規制強化を要望。県および県警察本部から、「坂東市民のみならず、安心安全に生活できる環境保全対策に速やかに取り組んでいきます」との回答をいただきました。

全国地域安全運動にともなう 「合同パトロール」を実施



10月11日、さしまクリンセンター寺久で、境界警察署による「地域安全運動にともなう合同パトロール」出発式が行われました。

パトロールは、全国地域安全運動（10月11日～20日）に合わせて実施。防犯意識の向上と地域安全活動の強化を目的に、境地区セーフティ・マイ・タウン・チーム坂東班や境地区防犯協会女性部坂東班、七重地区の各ボランティア団体のみなさん約60名が参加しました。参加者は、出発式終了後2つのグループに分かれ、同センター周辺と七重小学校周辺を防犯パトロール車や徒歩などで巡回。空き巣被害、自動車窃盗などの被害防止について呼び掛けを行いました。

▼息子や孫を名乗って金銭の工面を求める電話がかかってくる、それは詐欺です